

《メイン事業》

“親子ふれあい弁当デー全校実施”

市内全ての小中学校において、各学校の実情に合わせてながら「親子ふれあい弁当デー」を概ね2日程度実施する。

実施にあたり、学校支援課においてチラシ『「親子ふれあい弁当デー」に参加しよう！』を作成し各学校へ配付したほか、年度末には、各学校から取り組んだ結果の報告を受け、当該報告の中から次年度以降の取り組みの参考となる事例については、全ての学校へ配付する。

○小名浜第二小学校の様子



“食育講演会”

親子ふれあい弁当デーの全校実施にあたり、家庭における理解・協力が不可欠であることから、家庭の役割についての理解や、「食」に関する正しい知識の習得など、子どもたちの健全な食環境を整えていくことを目的として、保護者を対象とした食育講演会を開催する。

1 実施時期及び場所

日 時 : 平成 26 年 11 月 22 日(土) 14:00～
場 所 : いわき産業創造館 (企画展示ホール)

2 講 師

料理研究家、栄養士 今別府 靖子

- 料理研究家・栄養士。健康かつおいしいレシピ作りの企画から料理作成、コーディネートまでを行い、書籍、雑誌、広告、Web、テレビ、料理教室などで広く展開。

※ 栄養士として、本市の中学校学校給食（スクールランチ）献立作成（2011年8月～10月までの導入時期）を担当。

《サブ事業》

“地元高校との連携による事業”

いわき海星高校実習船「福島丸」で水揚げされた「かじきまぐろ」を使用した給食や磐城農業高校の生徒による加工品を使用した給食、さらには、同校の生徒が考案した「まごわやさしい」給食を、全ての小中学校へ提供するとともに、高校生や調理員などとの交流会食会を開催し、食に関わる人々への感謝の心や、地域産物を理解することによる郷土愛を育成する。

日 程	内 容
10月22日	いわき海星高校とのタイアップ事業 “「かじきカツ給食」の提供、 ・ 交流会食会 小名浜第一小学校（小名浜給調受配校）
11月13日	磐城農業高校とのタイアップ事業① “磐農生が考える「まごわやさしい献立」の提供、 ・ 交流会食会 錦小学校（旧勿来給調受配校）

1 月 29 日	磐城農業高校とのタイアップ事業② “「オリジナル食材使用献立」の提供、 ・ 交流会食会 勿来第二小学校（常磐給調受配校）
----------	--

※ 10 月、11 月は地産地消月間、1 月 24 日からの 1 週間は学校給食週間。

“地元シェフとの連携による事業”

地元のシェフが、地元の食材を利用して考案した献立を、全ての小中学校へ提供するとともに、シェフや調理員などとの交流会食会を開催し、子どもたちの好き嫌いをなくすきっかけをつくるほか、「食」への興味や地域に根ざした食文化、さらには地域への理解を深める。

- 1 日 程 : 平成 27 年 2 月 17 日
- 2 シェフ : Hag i フランス料理店 Chef 萩 春朋
- 3 献立 : いわきの三大きのこ（しいたけ・エリンギ・なめこ）のピラフ
蒸し豚のシャリアピンソースかけ
ガルビュールスープ
- 4 交流会食会 : 郷ヶ丘小学校（平南部給調受配校）

“和食給食推進事業” ～ 農林水産省事業 ～

学校給食での和食の普及・啓発と、地場食材・国産食材の活用を目的に、農林水産省が「和食給食推進事業」の実施をしており、全国から和食給食の推進モデル校を選出し、和食料理人との意見交換や献立開発、和食講座等を通じて和食給食の推進を図ることとしている。

本年度、平第二小学校がモデル校に選ばれたことから、学校給食を通し、日本人の伝統的な食文化「和食」の伝承と普及につなげる。

- 1 日 程 : 平成 26 年 12 月 19 日
- 2 料理人 : わ多なべ 店主 渡 邊 達 也
- 3 献立 : さわらのみそだれかけ ～冬野菜添え～
沢煮椀
- 4 交流会食会 : 平第二小学校（平北部給調受配校）

“学校給食見える化事業”

給食を調理している現場を見学・試食することを通じて、学校給食への理解と食育への関心を高めてもらうこと、また、放射性物質に対する不安の払拭を図ることを目的として、小中学生の保護者を対象に、学校給食共同調理場及び放射性物質検査の見学会を開催する。

〔開催日〕 5月30日、6月25日、7月16日、8月28日、9月26日、
10月17日、1月23日、2月13日

〔見学場所〕 小名浜学校給食共同調理場、NPO法人いわき環境システム

〔見学内容〕 給食調理場見学・試食、専門家（放射線医学総合研究所医学博士等）による講話、放射性物質検査現場見学

“幼稚園との連携による食育推進事業”**～ 高坂幼稚園との食育モデル事業 ～**

幼児期における食生活習慣は、その後の成長に大きく影響し、健康と発達に直接関わるため重要である。

食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食への意欲、興味、関心をもって食事を楽しむ子どもに成長していくことを期待するとともに、園児と保護者の「食」に関する意識を高め、園児と保護者が共通の興味・関心をもち、将来子どもたちが健全な生活を送れるよう、望ましい食生活を営む力を身に付ける。

<内容>**○ 夏野菜の栽培**

- (1) 苗植え、観察
- (2) 収穫、種取り
- (3) 調理、カレーパーティー

○ かぼちやの収穫体験

いわき市フラワーセンターで栽培したかぼちやを収穫、調理、試食する。

- (1) フラワーセンターにてかぼちやの収穫体験
- (2) 調理、ハロウィンカレーパーティー

○ 「PTA教育講演会」講師派遣

幼稚園主催の講演会に給調栄養教諭を派遣し、保護者に食育の推進について講話する。

“公民館との連携による食育推進事業”

～ 平窪公民館との食育モデル事業 ～

食育を推進していくためには、学校や家庭のみならず、地域の様々な関係者の連携・協力のもとに、地域が一体となって取り組む必要があることから、地域ぐるみで子どもたちの食育を応援する体制の確立を目指し、様々な事業に取り組んで行く。

<公民館事業との連携>

○ いわき・わくわく「仕事塾」

平第四小学校 3 年生が授粉作業を行った、地元（平窪）で収穫した梨を使用し、同校 5 年生が梨料理作りを実施することから、その時間に給調栄養教諭より献立の食材等に関する話を行う。

<公民館祭りへの参加>

家庭や地域を巻き込んだ事業を展開するため、毎年開催している公民館まつりの機会を活用し、給食関連のブースを設け啓発活動を行う。